

2016アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [尾花沢市立玉野中学校] 担当教諭名 [阿部 千恵子] (2年1組 12名)

相手国・地域 [サウジアラビア]

海外学校名 [Al Hussan International School] 担当教諭名 [Saira Muhammad]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
	総合的な学習の 時間	自文化・異文化理解と国際交流	22

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	平和と平等
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	平和とは人々の笑顔。伝統的なそれぞれの文化を大切にしたい。サウジアラビアの暮らしはラクダから変化し、女性が活躍できる社会を目指している。歴史の建物が残っているのは平和の象徴。日本もサウジアラビアも未来に向けて歴史的建物を残していきたい。そして自然。雨の少ないサウジアラビアに日本の豊富な雨を渡し、日本にある富士山と桜の木々から流れて川になり海となってサウジアラビアと繋がっていききたい。どんな人とも平等の世界をめざしていきたい。手を広げて、サウジアラビアの人たちとつながり、世界中とつながっていききたい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
交流の中で、実際にサウジアラビアの中学生に日本の贈り物をし、サウジアラビアの中学生からサウジアラビアの贈り物が届いた感動は大きかった。そして、サウジアラビアの中学生が壁画を描いている様子や全校生に発表している様子に刺激を受け、さらに多くの事を知りたいという意欲が出た。外国語が身近になり、活動を積み重ねて行くたびに、生徒の判断力・決断力が身についてくる様子が実感できた。	セキュリティの問題から、予定していたテレビ会議ができなかったことは残念だった。今後も学校施設内でスカイプができる環境にないので、課題は継続する。中学2年生であったが、自己紹介カード作成ひとつにしても、英語担当でない筆者には、充実した内容にするのが、難しかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
取り組む前は、サウジアラビアの生活について、ほとんど生徒の知識がなかった。宗教の違いや、男女の生活の様子、学校の様子などが分かってきた際、新鮮な驚きがあった。その中でも、実際の映像を見て、同じような中学生に親近感を持ち、イスラム教への恐れがなくなったことが、大きな収穫だと思う。また、国の場所や出来事への興味が出てきた事と共に、自分の国の文化を改めて見直すことが出来て行った。	当初はサウジアラビアであることで、欧米と比べて不安に感じた。女子校であることや、男子の映像が禁止であることにも驚いた。しかし、真摯に対応してくれた相手の先生や、素直に活動を喜ぶサウジアラビアの中学生に心を動かされた。相手国だけでなく、平和について意識が高まり、日本が世界からどう見られているのかを考えるようになったし、生徒にも発信するようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
出会い 自己紹介	9月	国際交流壁画について 自己紹介文を書こう 相手校の生徒を知ろう	内容を聞き、一人一人がやってみたいことを書いたが、なかなか思いつかない生徒もいた。自己紹介文を簡単な英文で書く事が出来た。相手の自己紹介の写真に興味を持つことができた。	総合5
共有 テーマ学習	9月 10月	日本のものを贈ろう 日本文化を知ろう 日本文化を紹介しよう 相手の文化を知ろう	日本らしさがある身近な物を贈り物にしようと提案しそれぞれ考え始めた。日本の文化を紹介する活動に、意欲的な取り組みであった。一人一人が英文まで良く考えた。サウジアラビアのことで調べたい事を出し合い分担して一人一人が調べ発信することができた。	総合8
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月	構図を考えよう 構図について意見を交流しよう	サウジアラビアの調べたことを文化祭の全体発表で一人一人がクイズも交え楽しく発表した。構図案の交流はスムーズに進む事ができた。どの部分を描くかも、スムーズに決まった。	総合2
創造 壁画制作	12月	絵の下書きをしよう 絵を完成させよう	下書きにも本書きにも、普段美術が得意でなさそうな生徒も含め全員が楽しそうに取り組んでいた。分担しながら壁画を完成させることが出来た。最後に裏に一人一人がサインをした。	総合5
評価 振り返り 自己評価	3月	自分たちで完成した絵を鑑賞しよう 発表しよう 振り返りの活動をしよう	完成した絵を眺め、満足そうであった。全校生が見ることができるよう掲示した。活動を通して得たものに、多くの視点から書いていた。最後の感謝のカード作りにも楽しく取り組んでいた。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:あまり重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	日本の文化を紹介しようとして、改めて身近な物や、文化遺産や動植物など、多くの視点から生徒は考えていた。
異文化の理解	A	5	特に実物としてサウジアラビアの贈り物が届き、自己紹介写真を見て、生徒の関心がぐっと深まっていった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	当初、英語が不安だった生徒も、活動を重ねるごとに、意識が高まり進んで活動するようになっていった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	4	日本からの贈り物の紹介や日本文化の紹介、サウジアラビアの調べの際に、インターネットを上手く活用していた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	何を紹介するかや、英語での紹介文を考えたり、壁画を描いたりを繰り返すごとに、交流が活発化していった。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	絵を描く際に、絵の具の共有や、狭い場所での譲り合いが必要になったが、自然に良い雰囲気での活動できた。
学習を追究する意欲	B	4	途中で意欲が途切れることなく、多くの活動を時間内でこなすことができた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	C	4	絵に対し、苦手意識を持つ生徒もいるが、それぞれの持ち味を生かして、全員が楽しく描くことができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	C	4	上手へたにこだわらずに、一人一人が鑑賞していた。完成したことに満足そうであった。